

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 19 年 4 月 25 日	
		作成部署	丹後土木事務所	
事業名	掛津峰山線	構想番号	(土・道) 構-19-	
	交通安全施設等整備事業	地区名	京丹後市峰山町橋木～矢田	
概算事業費	約 6 億円	事業期間	平成 19 年度～平成 23 年度	
事業概要	事業延長：L=1, 260m 計画幅員W=10.0m 2車線 歩道2.5m(片側) 歩道設置			
関連する公共事業	なし。			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本路線は、峰山市街地と日本海を結ぶ準幹線府道であり、事業区間は市街地に近接した農耕地に位置する。 ・歩行者等の安全確保を図りつつ、事業による土地の大規模な改変を避ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴い新たに出現する法面について、その保護を植生工を用いて行うなど、周辺の環境に馴染む工法を採用する。 	△
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現道は、幅員が狭小で車輛の離合や通学時等の歩行者と接近の際の速度低下が避けられず、排気ガスの増加につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の設置により交通の円滑化を図り、当該地域の排気ガスの排出を削減する。 	○
地域個性・文化環境	<ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建設予定地周辺は、市街地に近接した谷あいの田園地帯であり、土地の大規模な改変による景観への悪影響を避ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要最低限の道路機能を確保した上、土地の改変を最小限に抑さえ、また、改変した土地については周辺の景観や環境に配慮した工法の採用に努める。 	△
地域の環境像	周辺の景観に溶け込んだ道路の改築を目指し、のどかな田園風景にふさわしい環境を確保する。			
特記事項	なし。			

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善○、中立△、悪化×)